

「コルセット」

感想文集

NPO法人 ふなばし演劇鑑賞会



「聞く耳を持つ」朝ドラの「虎に翼」(9月27日終了)に共感している小生ですが、今回のコルセットも、そのことが重要なテーマになっていたと感じました。TVのコメンテーターは起業は儲かると嘆けているが、多くの中小企業の経営は苦勞の連続だと思えます。

今回若手の俳優さんが多く出演していたが、世相、経営者、そして働く人々の苦悩や希望が良く演じられていた。特に二幕目の「激突」が印象に残りました。(宙 田口誠雄 80代)

芳美が「弱い人間は淘汰される」と言った場面に、泣けてしまいました。久莉子と言いつ争い、芳美の苦勞や悲しみが伝わったあとの場面だったので、現代社会に翻弄される人間の苦しみ、悲しみが伝わりました。

信恵が最後に正彦と結婚してしまう話の展開には今一つ。物語が愛と結婚でまとまってしまうのもそうですけど、信恵の結婚相手が大金持ちというのも、低所得者の一庶民(ぼくです)にとつては、あまり気持ちの良い最後として観られませんでした。

今は愛や結婚が難しい時代なので、そこをもう一步踏み込んで欲しかったでも、全体的に面白い物語でした。元氣も良かったです。ありがとうございます。(ラ・シーク 誉田基 40代)

近い席で楽しませていただきました!(無記名)



とても面白かったです。テンポが良く、舞台も素敵で、登場人物のキャラも分かりっていて、とても良かったです。内容について、信恵ちゃんがすごく頑張っていて、ブラのコンセプトも良く、そこをほめたところ、コンセプトを認めたところの女社長のセリフはすごく良かったけれど、その後の責めるところはやりすぎだった。

女社長の会社を1人で守る大変さは、並大抵のものではないと思った。信恵ちゃんのお母さんの気持ちもすごくわかる。女性の生き方を対称的に描いて面白かったです。(ザッハトルテ 無記名 60代 女)

迫力があってグイグイ引き込まれました。(ここの葉 川村 女)

就職するのではなく、自分で会社を立ち上げて事業を起こしてお金を稼ぐ。これだけでも相当な気力、体力がいると思う。そして、同じ仕事を30年間続けるといふ忍耐力。

その点、芳美はよく頑張ったが、その努力を前面に押し出すと社員が疲れてしまう。今の世の中、この令和の時代にはそぐわない姿勢なのかもしれないと、一度自分の行動を俯瞰してみることも大切なのだろう。(亜童夢 神原健人 高2)

時代背景をしっかりと扱っていて、でも明るくステキにまとまっていて良かった。社長さんすてき!(バジナ 無記名)

楽しかったです。笑いました。泣きました。結婚相手の男の方の心からの訴えがとつてもとつても良かったです。(無記名)

とても楽しく、途中はドキドキしたりホロっとしたり、良いお芝居でした。(ハイネ 中川奈津子 60代)

すごく熱心に演じている姿に、心打たれましたが、残念な事にセリフが聞きとれず…。補聴器はガンガン音のみで…これも私の老化ですが。(つるばら 竹之内つぎ子 80代)

笑いの中にほんわかかな気が残り、楽しかった。(無記名)

今、育児をしながら働く人や、夜遅くまで働く人が多い中で、とても心に残る演劇でした。仕事一筋で働く芳美と、娘を持つ母の久莉子が最初は意見が違って、仲が悪くなってしまうが、お互いの意見をわかち合い、最後に仲良くする二人がとても良かったです。

ワルキューレで働く信恵が新しい下着の案を作るも、社長やみんなから厳しくやり直しをされるが、それでもあきらめず、自信を持って仕事に取り組み姿を見て感動しました。

用務員の国夫さんが芳美に怒ってカマを突き出すシーンがすごいと思いました。何時も優しい国夫さんが、思い切り怒る所が驚きました。

(フージーと元氣な仲間たち 鍛冶屋ひな 10代)

女性の人生は、不思議なものだと思いました。(ハッピープリンス 田中弘之 60代)

企業、個人の生活の中で多くの人が体験したり、感じたりする気持ちを面白く語っている。身構えたり、苦しくなる状況も日常であるが、その中で友人との対立や和解など、悩みながら選択していく様子が楽しい。劇団朋友、ありがとうございます。

(ハッピープリンス 春日井治 70代)

テンポがあつてとても面白かったです。(テラ 高田眞理子 60代)

ストーリーがしっかりしてて、構成が良かったです。

(イヴ 金子雄一 40代)

コルセット：若い頃はしていた。でも今は窮屈でしなくなつた：これは実物のこと(笑)心のコルセットを外して、話し合ったり付き合ったりと、これは豊かに楽しく生きていく上で大切なことだと思つた。そして、お互いに無いものねだりをする。これも傍から見たら笑つちやうことだね。楽しい掛け合いの展開から、いろいろと感じさせてもらいました。ありがとうございます。

(亜童夢 伊澤輝美 70代)

軽妙なやりとりがすばらしかった。社長がちくわだなんて最高。15人の出演者の皆様、息ぴったり、おしゃれでステキな舞台でした。

(テラ 山西愛子 70代)

個人的な問題ですが、聞こえず会話の内容がわからず残念でした。洋服、着物等その度変えて出てきました。色のつり合い等、興味深くみました。

(つるばら 無記名 80代)

とても良かったです。女性の生き方を考えさせられました。

(テラ 植松礼子 70代)

女性の生き方、いろいろ楽しかったです。(無記名)

今まで女性下着について、考えたことはあまりなかったけど、今日のお芝居を観てすごく大変な仕事だと感じられたし、幅広い年齢に合わせて沢山考えていて、私も心を動かされました。

(コルセット 矢口怜奈 10代)

心に残りました。今日あったことは忘れません。

(コルセット 矢口女 10代)

私の世代が就職した当時は、結婚するなら退職して家庭に入るか、仕事を続けるなら「オールドミス」として家庭を持たず、仕事をしてスーパーウーマンになるか、二者択一のムードに彩られていました。仕事がバリバリできる訳ではない普通の女性が、仕事もし、家庭を持ち、子育てもする、全部つかむ！その為には労働条件を変え、女性が全てを両立しやすい環境を社会を作つていかなければならない、そうした運動の中に同時進行して人生の大半を過ごしてきたように思います。結構大変なことでした！

今日の演劇は、そんな訳で二者択一の図式から出来ていたので、残念に思いました。視点が古いと思いましたが、もう少し時代を進めて、女性が社会進出するのに何が問題なのか、違う角度で内容を考えて欲しいです。古すぎるとコルセットでは考えるきっかけになりません。(フコーシツプ 谷 70代)

最初の音楽から、あついなと思いましたが。音響、照明、舞台装置から衣装に至るまで、とてもすてきでした。多数の出演者にもかかわらず、一人ひとりの人物像が鮮やかに際立っていたので、誰がどういう人物かがすぐにわかり、速いテンポのやり取りにもすぐについていけて、芝居の世界に溶け込めました。打ち合わせの場面は実際のデザインの現場を見事に再現していて、ネーミングもコンセプトもとてもリアルでセンスが良く、これを製品化したら本当に売れるのではないかと思つたほどでした。話の内容にとっても共感できたため、こだわりなく大笑いすることができると楽しい会話でした。

特に後半の、社長がデザイナーを激しい口調で追い詰めるシーンが印象的でした。昔勤めていた宝飾会社の社長でデザイナーの先生そっくりのしゃべりだったので、笑うところではないのにあははと声が出てしまいました。苦心して生み出した作品に対する熱い思いがほとばしり出るので、あのような強い口調になるのでしょう。受ける方にもその思いが真つ直ぐに伝わって、必ずイメージ通りの作品に仕上げさせるという気持ちでみんなが仕事に取り組んでいたなど、当手を振り返ったりもしました。(たこやき 男)



今日の劇と同じように長年の友がいて、ケンカして離れたりくついたりして、自分達を観ているようで、おかしくもありちよつぷり涙。

ケンカできる友人がいることを改めて幸せなことだと感じて：もつと大切にしなくちゃ！って思いました。

(ラ・シーク 無記名 女)

笑い有り、感動有り、とっても明るい気持ちになりました。

今の世の中大変だけど、やっぱり明るく前に進もうと思いました。

(三番瀬 鈴木千津子)

女性の生き方をお芝居を観て、自分の生き方も考えながら観ていました。それぞれの女性の生き方は、女性として考えるものがたくさんあり、自分自身の生き方や、どのように生きて行きたいか考えさせられました。とても良かったです。どう生きてても、自分で幸せが感じられる生き方をしたいと思いました。(コルセット 矢口里奈 40代)



今回『コルセット』という劇を観させてもらいましたが、凄く圧巻でした。40代〜50代の女性に向けた下着を、主人公が色んな思いを抱きながら作る姿が本当にかっこよかったです。

上司の人からあれだけの指摘をなんでものを受けたら、苦しくてたまらなくなるはずなのに、立ち向かっている姿がかっこ良かったです。又、主人公のお母さん、社長の友情が美しかったです。20年ぶりに再会して、喧嘩などして気まずい雰囲気にもなったりしたけど、その中でもお互いの良い所、悪い所をちゃんと理解し合っていて、支え合っているようにも見えたので、そういう細かい所まで表現されているのがプロだなと思いました。「友情」がテーマでも良いんじゃないかと思うくらい、演技ではありますが、人間関係の事について勉強させてもらいました。自分は人間関係や人の付き合い方で沢山悩んできましたが、今回の劇を観て「お互いの事を理解し合えて、信頼できる友達を作れたら良いな。」と思いました。役者同士の息の合い具合も丁度良く、セリフのテンポも一定じゃなかったので、観てとても気持ち良かったです。声のトーンの抑揚なども一定じゃなくて凄かったです。想像できないくらいに練習期間の中で、あれだけの音量を出せて自然な演技ができるように頑張りたいなと思いました。

(フージャーと元気な仲間たち)

新井菜々美 10代)



『泰山木の木の下で』の感想

原爆のイメージが脳裏に思い浮かんだ。刑事役の人と、産婆さんの演技の掛け合いがとても良かった。やはり生で観る舞台演劇は、音響さんと照明担当の方と、様々な人との繋がりが合いによってできる芸術作品なのだなど、今改めて思った。なぜ広島に落とされたのか。この行為によって早く第二次世界大戦が終わったという見方もあるが、やはり核というものは廃絶せねばならないと、今は思う。広島は世界で初めて原子爆弾が落とされ、最も甚大な被害を被った都市である。この事実を生涯にわたって、日本人全員が伝えなければならぬのだろう。

(亜童夢 神原健人 高2)



おめでとうございます！

「コルセット」サイン色紙当選者

1165 宙 田口誠雄さん

1244 ラ・シーク 誉田 基さん

1843 コルセット 矢口里奈さん

※当選した方は申し出てください。

アンケート枚数 29 枚	(回収率 1.5%)
当日会員数 1,877 名	
例会参加者 1,491 名	(参加率 79.4%)